

# 「工夫凝らして関高校文化祭」

中日新聞朝刊(2016.9.7)中濃版

## 工夫凝らして 関高校文化祭

関高校（関市桜ヶ丘）の学校祭が6日、3日間の日程で開幕し、初日の文化祭では、地元の牛乳のおいしさを再発見するイベントや、コーヒーの試飲を通じて国際理解を深めるユニークな取り組みもあった。（大野雄一郎）



五つの味の牛乳を飲み比べる生徒たち。いずれも関市桜ヶ丘の関高で。

### 生徒アイデア 五つの味

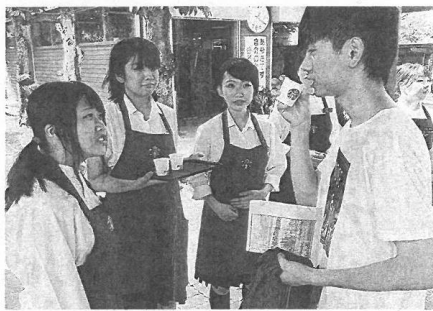
#### 関牛乳使って飲み比べ

PTAバザーブース 社長(右)によると、校「うめらん」に相談し、の一角では、関市観音 内には五年ほど前まで、前の乳製品製造「関牛 関牛乳の自動販売機が乳」が「関市のソウル あったが、なくなつてドリンク 関牛乳の復活 から関牛乳を知らないプロシエクト」と銘打 いた生徒が増えた。何と ったイベントを開催。 生徒らが五つの味の牛 乳を飲み比べ、投票で 一位を決めた。

「マカジン」を発行する 同校OBの吉田幸志、 同市のNPO法人「ぶ 十九種類を試飲して、 おいしいと感じた五種 類を文化祭で提供する 乳を提供。生徒からは 「デザート感覚で飲め 五つの味は、つぶあ ん味やきな粉味、みそ 汁の素を牛乳で溶いた 「みそ汁味」など。生 徒や来校者ら百五十三 人が飲み比べて、最も 気が入った味を投票し した。

「デザート感覚で飲め 五つの味は、つぶあ ん味やきな粉味、みそ 汁の素を牛乳で溶いた 外といける」などの声 が上がった。投票の結 果、グリーンティー味 が七十七票で一位に。 吉田社長は「牛乳に関 心のある生徒が多くて 安心した。人気の味は 商品化も検討していき たい」と話していた。

#### 2年生 フェアトレード啓発



コーヒーを試飲してもらいな がらフェアトレードの取り組 みについて説明する生徒たち

#### スタバと協力カフェ開く

中庭では、総合的な 学習の時間に国際問題 の調べ学習をしている 二年生がカフェを開い たら、来校者や同級生に 動を啓発した。

この日は、県内の同 社の店長五人と生徒二 十七人が協力して接客 し、二百杯のコーヒー を提供した。 参加した高垣龍平さ ん(右)は「フェアトレ ードを知らなくて、 自分の話に驚いてく れた人もいた。消費者 としても積極的に適正 価格の商品を買いた い と思う」と話してい た。

同校は国際的な素養 を持った生徒を育成す る県の「スーパーグロ ーバルハイスクール (SGH)」事業の指 定校。カフェは、この 運動に賛同しているス ターバックスコーヒー ジャパンの協力で実現 した。